

2023年5月11日
イオン北海道株式会社

～当社5店舗で販売～
エコフィード100%給与肉牛の出荷について
酪農学園が記者発表会を開催

イオン北海道株式会社（所在地：札幌市白石区 代表取締役社長：青柳 英樹 以下、当社）は、北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）と、学校法人酪農学園（所在地：江別市文京台 常務理事：西田 丈夫）が共同研究を進めている『エコフィード※¹給与対象 肉牛』が順調に肥育し、この度出荷を迎えるにあたり、イオン江別店、イオン札幌桑園店、イオン札幌元町店、イオン新さっぽろ店、イオン札幌発寒店の5店舗の畜産売場にてこの肉牛を販売することをお知らせします。

つきましては、下記の通り学校法人酪農学園主催で記者発表会を開催しますので、ご案内申し上げます。

日 時： 2023年5月15日（月）13時00分～14時00分
場 所： 酪農学園大学 研修館（江別市文京台緑町582番地）
出席者： 学校法人酪農学園 常務理事 西田 丈夫 さま
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 代表取締役社長 佐々木 康行 さま
イオン北海道株式会社 代表取締役社長 青柳 英樹
内 容： 1）エコフィード肥育牛の出荷に関する説明・質疑応答
2）写真撮影
3）試食会（日本短角種）
その他： 本取り組みはSDGs12、17のほか、複数の達成目標を横断した取り組みとなっております

この取り組みは、北海道コカ・コーラボトリング株式会社と学校法人酪農学園が締結したSDGsに係る包括連携協定の細目協定の一つである「教育・研究に関する取り組み」にあたるもので、酪農学園大学は企業が食品製造の際に排出される加工副産物、製造残渣を利用した家畜用飼料の開発に組み込み、循環型社会の形成に寄与するエコフィードの研究を推進しています。北海道コカ・コーラボトリング株式会社はお茶飲料製品製造時に発生する茶滓を酪農学園大学へ提供し、茶粕発酵サイレージ化※²への共同研究を行っています。

エコフィードの利用を推進することで、廃棄物量の削減、国内飼料率の向上、飼料価格の安定、畜産農家の経営安定につながるほか、地産地消や製造過程の公表、安全・安心な食肉生産という観点からも持続可能な社会の構築に寄与します。

当社は、地域連携・地産地消の取り組みの一環として、2021年4月より酪農学園大学の近隣に所在するイオン江別店において、酪農学園大学の学生が飼育した牛肉の販売を開始しました。その後、豚肉においても、イオン江別店、マックスバリュ上江別店、マックスバリュ厚別店で販売開始するなど取り組みを拡大しております。

当社は、地域連携を推進するとともに、SDGsの目標達成に向けた取り組みを進めてまいります。

※1 エコフィードとは

環境にやさしい（エコロジカル）や節約する（エコノミカル）等を意味する「エコ」と飼料を意味する「フィード」を併せた造語で、1. 食品製造副産物 2. 余剰食品 3. 調理残渣等を利用し製造された家畜用飼料のことです。

※2 茶粕発酵サイレージとは

北海道コカ・コーラボトリング株式会社札幌工場で製造の「お茶製品製造残渣」を小麦粉、ふすまなどと混合し、約1カ月の発酵期間を経て完成。これを肉牛用の餌として給与しています。

■SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。当社は、SDGsの目標達成に向けて取り組みを推進しています。



【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部 電話番号：011-865-9111